



白沢海岸／12月1日



新年明けましておめでとございます。皆さま健康やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年のお正月は、コロナの影響で「家族そろって」とはいかない方々もいらっしゃるお察しいたしますが、家族と離れていても気持ちはずっとつながって新しい年を喜びたいものです。

さて、昨年の1月に新型コロナウイルスの国内での感染が確認されたから、1年になろうとしていました。この1年で私たちの生活はすっかり変わってしまいました。そして、感染症のパンデミックは私たちにもさまざまな課題を投げかけてきました。これまで普通にやっていたこと、近くでおしゃべりをする、楽しく笑いながら食事をする、身近な人とのスキンシップ、大勢で集まってイベントをする、祭りをする、いろいろな「普通」が「普通」でなくなりました。3密(密集・密接・密閉)を避ける、マスクをつける、が「普通」になってしまった日常。それでも、私たちはできることをして、それらの制約を受け入れながら、新しい日常を生きていかなければなりません。その中で、いろんな工夫をしてそれぞれの人生を輝かせていきたいと思えます。

令和3年がスタートしました。昨年、日本国内では、9月に菅新政権が発足、鹿児島県も新しく塩田知事が誕生し、県内の3市で新しい市長が誕生しました。アメリカ合衆国では、この1月バイデン新大統領が就任します。いろいろなところで新しいリーダーが誕生して、新しい風が吹くのは確かなようです。7月には、昨年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。コロナ禍での開催となり多くの困難もあるとは思いますが、我が国の英知を結集させて、感染症を克服した証を世界中に発信できることを期待したいと思います。

昨年、新年のご挨拶に記した「地域内消費を高めるための地産地消への取り組み」「エネルギー消費の地域内循環への取り組み」「女性活躍社会の実現」「新しい価値を生むことができる事業を創出し、関係人口を増やす」など、昨年はなかなか思うようには進まなかったことも含めて、枕崎市もしっかりと取り組んでまいります。「地産地消」に関しては、人の移動やモノの動きが鈍ったコロナ禍で、まさに取り組むべきことです。この地産地消はさらに加速させていきたいと思います。「エ

ネルギー消費の地域内循環に関しては、昨年稼働をはじめた木質バイオマス発電所が地域エネルギーの地産地消に向けた一つの起爆剤になると考えます。地域電力会社の設立へ向けた取り組みを加速させてまいります。「女性活躍社会の実現」に関しては、昨年、男女共同参画推進条例を制定しました。男女共同参画社会の実現に向けて進んでいきたいと思います。世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数121位という我が国ですが、ここ枕崎から男女共同参画社会を「あたりまえ」にしていきたいと思えます。そして「新しい価値を生むことができる事業を創出し、関係人口を増やす」に関しては、昨年から進めている野球場の改修がこの3月で、その第一弾が終了します。学生野球、アマチュア野球のキャンプ、合宿誘致に動く体制が整います。市では、今年4月に「スポーツ・文化振興課」を新設して、スポーツ・文化を生かした地域づくりを加速させていきます。なかなか思うように前に進めなかった昨年でしたが、その間、将来のまちの姿をイメージして準備を進めていたことを、前へ進めていきます。

スローダウンしたものもあります。高血圧ゼロの街まぐらぎプロジェクトもブラッシュアップして再開させます。生命にこだわったさまざまなイベント、講演等を通じて「自殺対策」にもしっかりと取り組みます。少子化対策については、昨年コロナ対策として開始した新生児への5万円の商品券給付を継続するほか、病児保育事業、産後ケア事業など本市の強みを生かした子育て支援も引き続きやっていきます。将来を見通しにくい難しい1年間を過ごし、その間、想像力を働かせること、知恵を働かせることにこだわってきたことを少しずつでも成果につなげていけるようになってまいります。

昨年はさまざまなイベントや行事が中止や縮小を余儀なくされました。それらのイベント、行事を今年は、どう工夫しながら再開するかを多くの皆さんと考えて進めていければと思います。一つの挑戦です。そういう意味では、今年「挑戦の1年」になるのではないのでしょうか。

今年が市民の皆さまにとって、素晴らしい1年になりますよう、みんなで頑張っていきたいと思います。